

2006年(平成18年)8月3日(木曜日)



夏祭り 笑顔満開 八街・授産施設

八街市八街の知的障害者授産施設「明朗塾」で1日、「第7回明朗塾夏祭り」が開かれ、2000人を超える地域住民らでにぎわった。写真。

「夏祭り」は職員を中心に地域住民や大学生のボランティアが運営。施設を利用する人だけでなく、地域住民も楽しめる祭りを企画、運営してきた。

会場中心の広場では、大道芸や周辺自治体の消防音楽隊の演奏などが披露された。屋台では大勢の子供たちが「金魚すくい」や「型抜き」などに夢中になり、笑顔が絶えなかった。【三浦博之】

2006年(平成18年)8月3日(木曜日)

踊りやゲームで交流

八街「明朗塾」で夏まつり

八街市八街の知的障害者授産施設・明朗塾(内藤晃施設長)で一日、夏まつりが開催された。

塾生と家族、ボランティア、地域住民ら約三千人が、

八月一日に社会福祉法人光明会が開設。十八歳以



上の知的障害者七十三人が自立を目指して、園芸品生産やパンづくり、バイオディーゼル燃料の製造販売に取り組んでいる。

夏まつりは、開設記念日に合わせ開催しており今年で七回目。会場には焼きそば、トウモロコシ、かき氷などの模擬店が立ち並び祭りムードを盛り上げ。スーパーボールや金魚すくいなどの縁日コーナー、塾生たちの手づくりパンや草花の即売も人気を集めた。

ステージ、広場では大道芸やマシク、消防音楽隊などによるコンサート、フォークダンス、盆踊りなどが繰り広げられ交流の輪が広がった。夜は施設前の畑を会場に大花火大会を開催。夜空に次々と大輪の花が咲き、観衆を魅了した。

約3300人が交流した
明朗塾夏祭り